白い花弁の流れる先　5

川鍋さく

やこうさん家

農家の庭には古い浴槽が置かれている
たいていは水色か白のプラスチック系のやつだ
たまにステンレス素材のものもある
やこうさん家がちょっと変わった家なのかと思っていたけど
自分の敷地にちょっとした畑を持ってるところは
皆同じように古い浴槽を
なぜか畑の傍とか庭先に置いている

やこうさんはおばあちゃんの友だちで
たしか娘さんが新潟の着物問屋に嫁いだとかで
その関係でやこうさん家でも年に一、二回
お宅の一室で小さな着物市みたいなことをやっていて
わたしはおばあちゃんに連れられて
何度かその着物市に遊びに行ったことがある
人見知りのひどかったわたしは
やこうさんに直接話しかけることなんてできなくて
だから着物市の帰りにこっそり
通りすがりを装って
やこうさん家の庭の浴槽を覗いた

やこうさん家の庭の浴槽には亀が入っていた
すぐ傍の畑で育ててる
白菜やら人参やらの切れ端と一緒に

今の近所のあそこの家も
庭の浴槽には亀か何か
生き物を入れているのだろうか

あの亀今でも生きてるだろうか

ところで
やこうさんの「やこう」とはどういう字を書くのか
未だにわからない

＊＊ 川鍋のつぶやき ＊＊

私の地元に、すごく大きな県立公園があります。全体の敷地がとても広くて、アスレチックがある所・自由に運動やサイクリングができる所・街を見渡せる展望台など、幾つかのエリアに分かれており、それぞれのエリアがちょっとした森林のウォーキングコースで繋がっています。その公園はニュータウンの中心に位置していて、ニュータウン内のあらゆる所に、そのウォーキングコースの入り口があります。私が住んでいた家のすぐ近くにも、ウォーキングコースの入り口の一つがあって、飼っていた愛犬が若かった頃なんかは、よく長距離散歩に出かけていました。

山の中に作られた公園なので、ウォーキングコースを歩いているとよくマムシやらトカゲやらと遭遇するのですが、一度、謎の生き物と出くわしたことがあります。すごくはっきりとしたオレンジ色で、大きめのオタマジャクシのような形をしたものが、ひゅるひゅるひゅるっ！と、足元を横切っていきました。かなり早いスピードだったので、手足が見えなかっただけかもしれませんが、私の脳には「オレンジ色のでっかいオタマジャクシ」として記録されました。それ以降その生き物を見かけたことは一度もないのですが、今でもたまに思い出します。いったい何だったのかなぁ。

今日、ふいにこの生き物のことを思い出して、そしたらその森林のウォーキングコースのこと、公園のこと、住んでいた場所のこと……次々と地元の景色や匂いも思い出されて（この生き物のことを思い出すと毎回そうなるのですが）、猛烈に帰りたくなりました。